



太平洋の現場から

災害後 2016 年から 2017 年へ

2016 年、バヌアツ共和国は総選挙で幕を開けた。これは前年 3 月のサイクロン災害からの復興がまさに始まろうとしていた矢先の 6 月の政変、10 月には現職国会議員 14 名が収賄による有罪判決、12 月の議会解散を受けての総選挙であり、52 議席中 36 の新議員が選出された。本選挙は、前回の選挙に比べ、より少ない候補者（23%減）にもかかわらず、前回とほぼ変わらぬ政党数、独立候補者数であり、メラネシアン政治の脆弱性が未だ懸念される結果となった。そして、政権発足から 1 年、安定が大きく期待されているにもかかわらず、早くも 12 月の議会開催中に 2 度の不信任案が提出され（共に不成立）、国民を落胆させている。

2016 年 2 月のサルワイ政権成立以降、大きな進展も見られた。課題となっていた国際空港の滑走路修復やサイクロン復興事業が本格的に始まった。10 月には、隣国ソロモン諸島との海洋国境線が実に 32 年間の協議を経て合意決定した。この過程が「メラネシアン・ウェイ」。地道な協議により平和的に決定されたことは喜ばしいニュースであった。観光事業は、空港滑走路の劣化により、カンタス、NZ 航空が年初から飛行を控えていることから、落ち込みが懸念されていた。しかしながら、バ



ポートビラ近くのエラコール島ビーチ

提供：浅野 洋子



バヌアツ共和国
Republic of Vanuatu



JICAバヌアツ支所
企画調査員 浅野 洋子

ヌアツ航空便の増便、収容客数の比較的多い 2 つのホテルの再開もあり、サイクロン前並みの集客となっており、関係者の努力には頭が下がる。観光とともに GDP をけん引しているのは、日本政府による当国への初めての円借款事業であるポートビラ港ラペタシ国際多目的埠頭整備事業を初め、豪州、ADB * 1 による道路補修を主としたポートビラ都市開発、ニュージーランドと ADB の国内埠頭、中国によるサント島国際埠頭、首相府など約 10 の建設事業があり、昨今、政府のインフラ関係職員は多忙を極めているが、遅延のない建設完了が期待されている。12 月のクリスマス前には、国民年金基金の投資事業について再考証することを目的として独立審議委員会が実施された。今回は、審議委員会の模様を連日、地元テレビ、ラジオが実況生中継し、多くの市民がこれを歓迎している。バヌアツは比較的治安の良い国であるが、過去の 2 度の暴動がこの基金への政治的介入に起因していることから、政府の委員会設置は社会不安を払しょくする意味でも良い措置であったようである。社会的には、客船接岸時に港湾周辺部に集まるバス、タクシー運転手の悪態をソーシャルメディアで批判した地元女性が、後日複数名のタクシー運転手に連れ去られ暴行を受けるというショッキングな事件が発生した。これに対し、女性への暴力反対を訴える大がかりなデモンストレーションが行われた。女性への暴力はこの地域の大きな問題であり、引き続き長期的な努力が必要となっている。またメラネシア版ロミオとジュリエット、「タンナ」（映画、2015 年制作）を、89 回アカデミー賞外国映画部門作品候補作品として豪州が推薦した（12 月）。2017 年のアカデミー賞発表が楽しみである。

2017 年の最大の関心は、何といたっても政府が本格的導入を検討している所得税導入ではないか。政府は導入の大きな理由として、政府の対外債務の増加、域内貿易協定開始による輸入税廃止などが挙げられている。導入反対意見が多い所得税の導入について財務大臣



ポートビラ港ラペタシ国際多目的埠頭整備事業

日本の支援で建設が進むポートビラ港の国際貨物専用埠頭。経済成長に伴い年々増加する物流を支える。

提供：株式会社エコー 武田 晶



は、2016 年 12 月の議会で、未だ決まっていないと発言しているものの、原案では、個人対象の所得税導入が 2017 年 7 月、企業対象が 2018 年 1 月の予定となっていることから、政府が次回選挙時期を考慮しながら、どのようにこの反対の多い新税導入を進めていくのかなど、その行方が気になるところである。

2017 年、国民が期待と不安を持っているのは、12 月に予定されている大洋州ミニゲームの開催ではないだろうか。同ゲーム委員会の銀行口座が凍結されたことを受けて、2016 年 12 月、政府が本格的に介入、当初チャリティ機関として登録されていたこの準備委員会を「大洋州ミニゲーム公社」とし、公的機関として正式に認証した。また中国政府の支援で建設が進められている競技場の完成時期についても遅れが懸念されており、外国人専門家を雇用し、12 月開催を目指しての努力が続く。

2017 年にバヌアツ人が最も待ち望んでいるイベントは、5 月に韓国で行われるサッカー 20 歳以下世界選手権へのナショナルチーム出場ではないだろうか。サッカーは、国内で一番人気のあるスポーツであり、世界選手権での活躍は、バヌアツ人にとって誇りとなる好機であろう。国内のサッカーでは、ポートビラ近隣の村を基盤とするエラコール・ゴールデンスターが、大きな財政サポートを持ち、多くの外国人選手が活躍する常連チームを破り、2017 年オセアニアチャンピオンシップリーグ（O リーグ）へ参加する。ゴールデンスターは、村のお母さん達がチームカラーの黄色に星模様のアイランドドレスを着用し、スタジアムへ大挙応援に押し寄せるなど、村をあげての熱烈な応援が有名なチームである。残念ながら地元での O リーグの試合は予定されていない

ようだが、チームの活躍に注目したい。

IFC * 2 の外国人旅行者への調査結果によると、バヌアツ観光の第一の魅力はバヌアツ人の明るく親しみやすいキャラクターとなっている。多くの国民が、数々の困難を克服し、明るい笑顔で暮らせるよう、2017 年も政権の安定と政府実務者の継続した努力を期待したい。

* 1 ADB : Asia Development Bank (アジア開発銀行)

* 2 IFC : International Financial Cooperation (国際金融公社)



年末のポートビラ中央市場

提供：浅野 洋子